

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042・464・8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
田無公民館 南町5-6-11 ☎042・461・1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042・461・9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042・421・3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042・424・3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042・421・1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



上保谷新田の招魂塔
西東京市新町の共同墓地(3面参照)

「門訴」を行ったのは、武蔵野新田村の中の12力村、現在の西東京市・小金井市・武蔵野市・小平市・国分寺市・東久留米市

武蔵野新田村と養料金制度

新時代幕開けへの期待と現実
大政奉還の翌年、一八六八年7月、江戸は東京と変わり、9月には明治と改元、新しい地方制度が定まりました。西東京市を含む東京隣接の四百余力村は、明治2年2月から品川県とされ、飯の県庁舎は日本橋浜町に置かれました。知事は、佐賀県出身の古賀定雄で、新政府の方針を徹底することに懸命でした。幕末からの経済・社会の混乱で人々の生活難は続いたため、当初の「御一新」への期待はうすれ、全国的に百姓一揆が急増しました。



作画：根津真雄

一五〇年前の「御門訴事件」
人々は何を考え行動したのでしようか

増田恵津子(御門訴事件を伝えてゆく会)

御門訴事件を知っていますか。明治3年1月(旧暦)、飢饉対策として食糧の備蓄の負担を課した品川県に対して、上保谷新田(現東伏見五丁目、柳沢二〜四丁目、新町一〜六丁目)にかけての地域を含む12力村の百姓たちが、全廃を求めて県庁前で「門訴」を行いました。

今年は事件から150年になります。学習会やフィールドワークを通して、この事件を伝えていく活動に取り組んでいる増田恵津子さんに寄稿いただきました。

にあった村々の百姓たちです。武蔵野新田は江戸時代の中期、享保・元文の頃(18世紀前半)に開発されました。この地域は火山灰が堆積した痩せ地で、土にも水にも恵まれず、肥料や牛馬の飼料を得るための草刈り場を利用していました。財政改革をめざす八代将軍吉宗と、関東地方御用の大岡忠相の強い指示によって開かれたものの、すぐに大凶作に直面しました。それを救ったのが、押立村(現府中市)の有力名主、川崎平右衛門で、幕府から資金を借り受けて入手した肥料を百姓に配り、収穫物を納めさせるという養料金制度を創設しました。この制度は形を変えながらも武蔵野新田村の保護政策として、幕末まで続いていました。

品川県の社会政策と武蔵野新田

明治2(一八六九)年11月、品川県は飢饉に備えるためと称して新しい社会政策を発表しました。社会とは、飢饉に備えて、雑穀等を蓄えておく倉、およびその制度のことです。江戸時代は、餓死者を出さないようにと、余裕のある百姓が自主的に稗やきびを備蓄して村が管理し、飢饉の時に貸し出し百姓に与えていました。田無の名主だった下田家の敷地内には、今も稗倉が残っています。

これに対し、品川県の社会政策は、県下の百姓全員に一律に米が現金に換えて拠出させ、県が管理するといふものでした。県は、同時に養料金制度の廃止も通知しました。

当時は3年続きの凶作の最中で、新たな増税であると反対したのが、82力村ある武蔵野新田村の中の13力村でした。

県役人は田無村に再三出向いて、13力村の村役人(名主・年寄り・百姓代・組頭)を集めて説得しましたが、小前(役のついでにない百姓)が強く反対したため、県の勸農方は譲歩案を作成しました。しかし、古賀知事は断固としてこれを認めませんでした。この時、田無村が抜け、12月20日、残り12力村の代表は関野新田(現小金井市)の真蔵院に集まり相談、団結の議定書に連印し、県に嘆願しました。

古賀知事はすぐに惣代の名主

関野新田の井口忠左衛門、上保谷新田の平井伊左衛門、野中新田の高橋定右衛門の3人を呼び出して説得しようとした。高橋定右衛門は病気で代理人を立て、他の2人は県庁へ参上しましたが承知しなかったため、軟禁状態の「宿預け」とされました(費用は本人が負担)。これに反発した小前たちは県庁前での「門訴」を決意して、12月28日、田無村の通称八反歩(現南町六丁目)を出発しますが、県役人と名主の下田半兵衛に説得され、「訴えはわかった」という言葉に期待して、引き返しました。

今から150年前の正月

門訴の決行

翌明治3年1月8日、宿預けの名主2人が戻らない中、12力村の村役人全員が県庁に呼び出されました。古賀知事の説得を受け入れなかったため、彼らも宿預けとされました。村役人たちがおかれた状況や県の対応を想像した小前たちは、宿預けとなつている2人の名主の息子でリーダーとして本格的に門訴決行に動きまわりました。

1月10日、再び八反歩に集合して、約500人が青梅街道を県庁へと向かいました。一方、村役人たちは妥協もやむを得ぬと考え、村人を説得すると申し出ていました。宿預けを解かれ帰村しはじめますが、すでに小前たちが村を出発したことを知り、内藤新宿の町役人などに頼んで彼らの行動を止めようとした。村人たちは淀橋で町役人が築いた大八車等のバリケードに行く手を阻まれますが、その中の一歩は迂回して小石川を経由して昌平橋を渡り、100人ほどが夜中に県庁前にたどりつきました。本格的な一揆の「強訴」にならぬよう、門外から嘆願し続けましたが、県の兵士が襲いかかり、門前の掘割(川)に飛び込むなどして逃げ損ねた50人ほどが逮捕されました。

事件のその後

1月13日からは、事件の首謀者探しが始まり、知事を先頭に役人や兵士が村々に大挙してやってきました。逮捕された首謀者やその家族は、厳しい拷問を受け、亡くなる人も出ました。門訴参加者に対する過酷な仕打ちを民部省や弾正台(警察機関、明治4年に司法省設置で廃止)に訴える者も出て、知事なども調べられました。社会の負担割合が緩和され、免除される者が出ました。また、古賀知事は役を解かれて佐賀へ帰されました。折からの廃藩置県で品川県も短命で、社会政策は2年で終わりました。徴収された社会積立金も、地域差があります。村に返金されました。これらは門訴の成果といえます。

しかし、当の12力村は死者6人(上保谷新田は2人)、負傷者多数を出し、宿預けの経費等の負担も重かったため、子孫が「御門訴一揆」を誇ることもほとんどありませんでした。

史実を後世に

この抵抗の事実を伝える史料のひとつに、『むさ志野の涙』があります。著者の神山平左衛門は、16歳で門訴に加わり、後年自由民権運動を経験した後、県庁まで行けず途中で終わった自身の行動やその後の伝聞を書き残しました。

上保谷新田の共同墓地(現新町二丁目)の招魂塔、関野新田の倚鐘碑(現武蔵野市八幡町三丁目)など、地域の中には事件を今に伝えるものがあります。それらをたずね歩くと、自らの体験や伝え聞いたことをつづった神山平左衛門の気持ちや、抵抗の前面に出た名主たちの思いなどを感じることができるともいれません。

150年前にこの地域で起きた民衆運動。その史実を大切に伝えていきたいものです。

門訴とは

近世の百姓一揆などにみられる違法な訴願の一つの形態。大勢の者が、領主の屋敷等の門前に押しかけて訴えることやその訴状のことをいいます。屋敷内になだれこんだ場合は、一強訴とされ、首謀者はより厳しく処罰されました。

※3面で、御門訴事件にゆかりのある場所等を紹介しています。
※柳沢公民館では、1月に御門訴事件に関する講演会とロビー展示を行います。詳細については、2面をご覧ください。

田無 **異世代交流**

小学生プログラミング体験会

～ロボットを、紙とマジックで自在に動かしてみよう～

プログラミング教育ロボット「OZOBOT(オゾボット)」でパソコンを使わずに「プログラミング」を体験します。ボランティアがサポートします。

時 2月11日(火・祝)
①10時～ ②11時～

場 田無公民館

対 市内在住・在学の小学生
※1～3年生は要送迎。保護者の見学可。

定 各12人(申込順)

講 山賀紳司(シニア情報生活アドバイザー)

申 1月6日(月)10時から電話で田無公民館へ



ひばりが丘 **子どもの課題を考える講座**

【共催事業】

不登校でもイじゃん!

～不登校に悩む子どもたちに寄り添うために～

子どもから「学校に行きたくない」と言われた時に親としてどう対応すべきか、みんなで考えてみませんか。

時 2月9日(日)
13時～15時半

場 ひばりが丘公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

講 阿部伸一(不登校専門カウンセラー・株式会社REO代表取締役)

申 1月6日(月)10時から電話かメールでひばりが丘公民館へ
※育成会ひばりとの共催



柳沢

くるみ学級の学級生を募集します

柳沢公民館には、知的に障がいのある方が、仲間と一緒に余暇活動を行うくるみ学級があります。学級では、調理、音楽、スポーツなどの活動を通じて仲間との交流を深めます。

詳細については、柳沢公民館へお問い合わせください。

【活動日】
土曜クラスと日曜クラスの2クラスがあります。原則として、土曜クラスは第2・4土曜日、日曜クラスは第2・4日曜日の午後、活動しています。

【対象者】
18歳以上の市内在住者で、日常生活において概ね介助を必要とせず、かつ、自ら意思表示が可能な方

【募集人員】
若干名

保谷駅前 **ハンディキャップ講座**

聴覚障がいについて学び

コミュニケーション方法を知ろう

聴覚障がいの程度は、人によってさまざま。聴覚障がいを身近に感じ、理解を深めましょう。

時 14時～16時

場 保谷駅前公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 25人(申込順)

申 1月7日(火)午前10時から
電話かメールで保谷駅前公民館へ



回	月日	内容	講師
1	2月6日(木)	障害って何だろう ・障害? 障がい? 障碍? ・ワークショップ「障害はどこにある」	田島誠一(特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター理事長)
2	2月13日(木)	誰も排除しない ・包摂する・社会をめざす ・あなたは、私は、何が出来るでしょう。	手話サークル 山茶花の会 たんぽぽ手話サークル
3	2月20日(木)	手話サークル紹介・体験	小山千春(エフエム西東京 パーソナリティ)
4	2月26日(水)	現役ラジオパーソナリティによる ハツラツとした声の出し方・伝え方	

柳沢 **郷土史講座公開講演会**

幕末維新期の村と百姓

社会の在り方が大きく変わった幕末維新期。当時の日本人の約8割は「百姓」でした。大半の人たちの先祖である百姓の目線から、幕末維新を見直します。

そして、その視点から、御門訴事件について考えます。

時 1月26日(日)14時～16時半

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 60人(申込順)

講 渡辺尚志(一橋大学大学院社会学研究科教授)

申 1月6日(月)10時から電話かメールで柳沢公民館へ
※郷土史講座「御門訴事件150年～江戸から明治、この地域の人々は何を考え、行動したのか～」の第4回として、公開で行います。



柳沢 **現代社会を考える講座**

個人史から学ぶ沖縄の現代史

～ひめゆり学徒隊引率教師・仲宗根政善の戦後～

ひめゆり学徒隊の引率教師であり、戦後、琉球大学で教鞭をとった仲宗根政善氏が、1953年から1987年の間に記した“ひめゆり学徒隊に関する日記”を読むことを中心として、沖縄の現代史を見つめます。

時 土曜日10時～12時 全7回

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 33人(申込順)

講 戸邊秀明(東京経済大学経済学部准教授)
※第1～3回、第5～7回

申 1月6日(月)10時から電話かメールで柳沢公民館へ

回	月日	テーマ
1	1月25日	はじめに: 仲宗根日記を読むための準備 ～沖縄戦体験を中心に～
2	2月1日	日記以前の戦後 ～沖縄のための教育を求めて～
3	2月8日	1950・60年代 ～弾圧と抵抗の渦中で～
4	2月15日	交流と振り返り
5	2月22日	復帰前後 ～激動がよびさます記憶～
6	2月29日	1970・80年代 ～戦争体験の風化に抗して～
7	3月14日	まとめの議論: 私たちは、いまどこに立っているか

柳沢 **郷土史講座ロビー展示**

御門訴事件 150年

～江戸から明治、この地域の人々は何を考え、行動したのか～

郷土史講座の関連企画として、御門訴事件の背景や経過、事件のその後等について、「御門訴事件を伝えてゆく会」が調べ、作成した資料を展示します。

犠牲者を出した御門訴事件。この地域の新田村の人々は、なぜ、「門訴」という行動を起こしたのか。何を訴えたのか。門訴の後、村人に対して何が行われたのか…。

私たちのまちの民衆の歴史にふれてみませんか。

時 1月19日(日)～26日(日)
※最終日は17時まで

場 柳沢公民館

※御門訴事件については、今月号の一面特集で取り上げています。

柳沢

ムービールーム柳沢

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順)

※原則として1人で複数の申し込みはできません。
開場時間は上映開始時間の30分前です。

「酔拳」

(1978年 / 香港 / 1時間51分)

1月15日(水)14時～

監督: ユエン・ウービン
出演: ジャッキー・チェン
ユエン・シャオティエン ほか

申 1月8日(水)9時から平日9時～
17時に電話で柳沢公民館へ

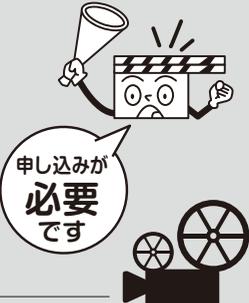
「あの空をおぼえてる」

(2008年 / 日本 / 1時間55分)

1月31日(金)19時～

監督: 富樫 森
出演: 竹之内豊 水野美紀 ほか

申 1月16日(木)9時から平日9時～
17時に電話で柳沢公民館へ



あやこさんぽ

畑や緑地など自然の恵み豊かな保谷駅周辺。小さな袋をたずさえ、立ち止まるとは木の実に拾ったり虫を観察する息子に「何かいいもの見つけた?」と道行く人がこやかに声をかけてくれる安心さ。この街の魅力です。好奇心旺盛な息子は、草の繁る脇道や暗渠の上などを好んで歩くのですが、そんな気ままなお散歩で、花苗を売っているところを見つけた。ハウスイっぱいに並んだ季節の花々は、どれも格安で気軽に寄せ植えが楽しめ、一緒に選んだ花苗に息子も張り切って水をやりしてくれました。

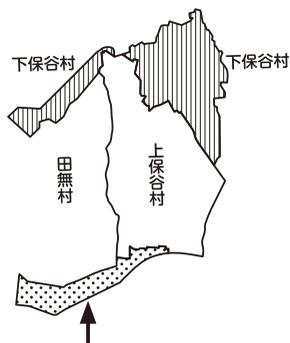
食いしん坊の私たち、市内あちこちの直売所で旬の野菜や果物をチャリンと買っこと



紹介してくれた人
眞子さん・葵裕くん4歳

も。何よりうれしいのは、自分で収穫体験ができること。春は、タケノコ掘り、夏は農園でブルーベリー摘み、秋冬は、いろんなお芋や人参、大根などの根菜掘り。小さな頃から泥んこになって遊ぶのが大好きな息子も収穫をする顔つきは真剣そのもの。そして、やはり自分の力で採ったものはおいしさも格別! 「これ、そっちゃん採ったんだよ」と食卓も賑やかです。「タケノコいつ生える?」。春が待ち遠しい我が家。地域の自然や人との交流を大切にしたい。タケノコのようにすくすくしなやかに成長してくれるらと思えます。

西東京市周辺の御門訴事件ゆかりの場所



上保谷新田

現在の東伏見五丁目、柳沢二～四丁目、新町一～六丁目にかけての地域です。

② 招魂塔 (新町二丁目)

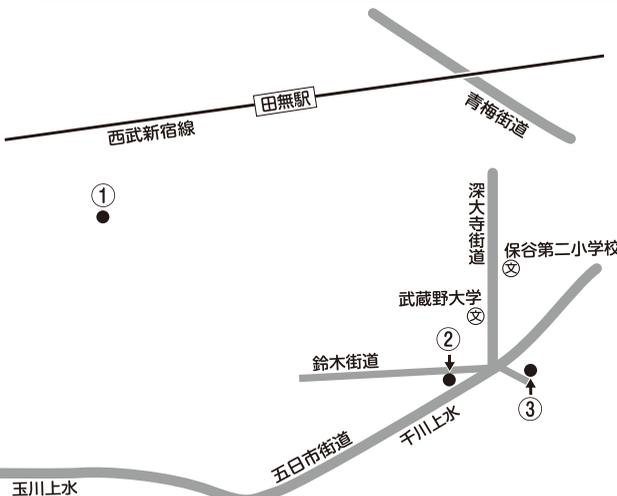
上保谷新田の共同墓地(しらし窪墓地)にあります。

明治12(1879)年に新田の「総村中」が建立しました。建立の趣旨は記されていませんが、御門訴事件の犠牲者の慰霊碑とされています。裏や台座に上保谷新田の村人たちの名が刻まれています。

門訴当日のリーダーであった平井虎之助(のちの週作)が土地を提供して、村内に散在していた事件関係者のお墓を集めて共同墓地とし、招魂塔を建立したと伝えられています。

① 八反歩 (南町六丁目)

武蔵野新田12カ村の村人たちが、門訴を行うために、浜町の品川県庁へ向かおうと集合した場所です。田無村にありました。



④ 真蔵院 (小金井市関野町二丁目)

門訴を行った武蔵野新田12カ村の村役人等が、集まって協議したお寺です。



③ 倚錫碑 (武蔵野市八幡町三丁目)

御門訴事件を記録し、あわせて井口家の犠牲者を慰霊するために明治27年に建立されました。碑文は、自由民権運動家、初代衆議院議長であり、名文家として知られる中島信行によって書かれました。



世界の料理

紅薯丸子 (中国)

- 【材料】
- サツマイモ 300g(中1本)
 - 砂糖 50g
 - 白玉粉 50g
 - 白ごま 適量

- 【作り方】
- ① サツマイモは皮をむき、一口大に切って、やわらかくふかす。
 - ② やわらかく蒸し上がったサツマイモをバットに並べ、砂糖と水に溶かした白玉粉を加えてつぶす。
 - ③ つぶしたサツマイモを直径2cmの団子状に丸める。
 - ④ サツマイモの団子を180度に熱した油できつね色になるまで揚げる。
 - ⑤ 白ごまをまぶしてできあがり。

一言メモ

母がよくつくってくれたふるさとのおやつです。紅あずまや安納芋のようなねっとりしたさつまいもが向いています。

母に教わったとおりにつくっても、母と同じ味にはなりません。何が足りないのかな? でも、家族はおいしいと言って、たくさん食べてくれます。

王さんが紹介してくれました。

王さんは、中国湖南省(毛沢東の故郷です)の出身です。現在、柳沢公民館の「子育て中の外国人女性のための日本語講座」で学んでいます。



メールでの講座申込方法

アドレス: 1面参照
件名: 講座名
本文: 氏名・電話番号・住所・年代
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

聴こえないことは外見だけではわかりにくい、大変理解されにくい障害です。聴こえない状態もそれぞれ、育った環境で手話を母語にしている人もいれば聴こえる世界で生きてきている人もいます。私たちが夫婦は健聴者ですが娘2人は難聴者です。娘の障害がわかった時は二度と自分が音楽を楽しんではいけないと思いました。それは聴こえない人は音楽を楽しめないと思ったからです。でも、手話歌に出会ってその考えは間違っていたんだなと気付きました。手話を知らなくてもきこえない世界に引き込まれるはず。SIGNの手話歌をご覧ください。

公民館で保育室を利用しながら学習してみませんか

令和2年度学習支援保育の申請を受け付けます

申請するには

■申込締切日

1月17日(金)

令和2年度の学習支援保育を希望するグループは、1月17日(金)までに活動を希望する公民館へ直接申し込んでください。その後、担当者が活動内容等を確認した上で、必要書類を提出していただきます。

■必要書類提出期限

2月28日(金)17時

学習支援保育の対象・内容

学習支援保育は、毎月継続的に公民館で学習活動を行っている

る市民グループが対象です。

平日の午前中の2時間、生後

6か月以上の未就学児を3人以

上から保育します。定員は15人

(柳沢公民館のみ18人)です。原

則として同時に複数の学習支援

保育を受けることはできません。

公民館保育室とは?

柳沢・田無・芝久保・谷戸・

ひばりが丘公民館には、公民館

保育室があります。乳幼児を

育てている市民が学習に参加で

きるように設けられ、その学習

活動の間、公民館保育員が保育

します。乳幼児の一時預かり所

ではなく、公民館学習活動の一環として運営しています。

保護者が学習に参加し、共に

学び社会の一員として成長して

いくこと、また乳幼児も人との

かかわりの中で育ち合うことを

目的としています。

公民館保育室は市民参加の運

営を心がけているため、学習支

援保育を利用するグループは、

定期的に行う保育室運営会議に

主体的に参加して保育室・学習

支援保育のよりよい運営につい

て一緒に考えていただきます。

その他、詳細は各館へお問い

合わせください。



報告 ◆ 谷戸公民館主催現代的課題を学ぶ講座 「家庭でできるアクティブ・ラーニング」

令和元年6月29日・7月13日

- 山本崇雄氏を講師に延べ63人が、なぜ「教えない授業」が学力を伸ばすのか、家庭でできる「教えない授業」をテーマに、次のようなことを学びました。
- ・間違えることがダメではなく、間違いを可能性ととらえる。
- ・目標に向かってがんばる力、人とうまくかわる力、感情のコントロール力をつける。
- ・学校や先生に依存せず、自律した学びが家庭でできるようになるために親にできることとして、社会課題の解決に向けチャレンジしていく学び、パブリック・リレーションズを取り入れる
- ・子どもを育てる4つの大きな視点として、1. 視点を未来に繋げる、2. 学びをリアルな社会課題につなげる、3. ワクワクさせる、4. 続けるための心構えがある。
- ・学力はやりたいを見つけたら伸びる。
- ・講座参加者の感想を紹介します。
- ・思っていたより家庭だけでなく世界に向けての話で驚いた。
- ・生徒自ら学ぶ姿勢を忘れずに授業をいかに面白くするかが重要だと思いました。
- ・もっと知りたいと気づく話題がたくさんありました。ワクワクしました。
- ・学校のせいにはせず、自律して
- ・子どもたちが幸せに学べる環境づくりをサポートできるよう今後アクティブ・ラーニングについて考えを深めていきたい。
- ・子どもの教育は、学校だけでなく地域も大切な役割を担っていて、公民館として意義のある講座だと思った。



「僕が君の耳になる」 HAND SIGN



福井かな子 (ひばりが丘在住)

ミュージックビデオ
「僕が君の耳になる」
HAND SIGN
音楽は耳で楽しむもの、みなさんそう思っていますか? 私もずっとそう思っていました。しかし耳の不自由な娘を産んで手話に出会い、そして手話で表現する音楽を見て、私は新しい音楽の楽しみ方を知りました。ただ歌詞に手話をつけるだけではありません。表情や視線など手と身体を使ってこんなに表現豊かになるのだと心を動かされました。
私がみなさんに紹介したい曲は、HAND SIGNの「僕が君の耳になる」です。聴こえない彼女と聴こえる彼、聴こえない両親と聴こえる娘、実際にあった話を元に作られた曲です。
聴こえないことは外見だけではわかりにくい、大変理解されにくい障害です。聴こえない状態もそれぞれ、育った環境で手話を母語にしている人もいれば聴こえる世界で生きてきている人もいます。私たちが夫婦は健聴者ですが娘2人は難聴者です。娘の障害がわかった時は二度と自分が音楽を楽しんではいけないと思いました。それは聴こえない人は音楽を楽しめないと思ったからです。でも、手話歌に出会ってその考えは間違っていたんだなと気付きました。手話を知らなくてもきこえない世界に引き込まれるはず。SIGNの手話歌をご覧ください。

まちがさがし

1月5日 いちごの日

いちご(1・5)世代と言われる高校受験を控えた15歳の少女にエールを送る日。学習塾が冬休み中の生徒のやる気を出させるために制定したといわれています。
【作者】田中奨電(中学2年生)



※タッチの違いや色の濃淡は間違いに含みません。

公民館 市民企画事業

政治・経済のかけひき材料に される辺野古問題

「トロシマ」に学ぶ会

沖縄の現状を知り、辺野古から見える沖縄問題の現実と歴史について一緒に考え、意見交換ができればと思います。
時 1月12日(日) 14時～16時半
場 柳沢公民館
定 80人(先着順)
講師 関野中大樹(ジャーナリスト)

連続講座「非軍事国家への道 とそのリアリズムと戦略」

ピースナウ西東京

台風19号の上陸により公民館が臨時休館したため中止した第1回を左記の日程で行います。
とくにご参加ください。
時 1月18日(土) 14時～16時
場 柳沢公民館
定 80人(先着順)
講師 伊藤真(弁護士)
内容 9条の防衛戦略
¥100円(資料代・広告代)

ひきこもりとアドラー心理学 〜ひきこもりによる不安をアドラー心理学で考えてみる〜

TOMOPOO(共歩)

長期化するひきこもりの当事者と親の「不安」から抜け出すためにアドラー心理学からヒントを得てみませんか！
時 2月2日(日) 14時～16時半
場 田無公民館
定 60人(申込順)
講師 阿部達明(東京都就労訓練アドバイザー)
電話かメールで左記へ
ドバイザー

長期化するひきこもりの当事者と親の「不安」から抜け出すためにアドラー心理学からヒントを得てみませんか！

時 2月2日(日) 14時～16時半
場 田無公民館
定 60人(申込順)
講師 阿部達明(東京都就労訓練アドバイザー)
電話かメールで左記へ
ドバイザー

木目込みで節句の人形をつく りませんか

木目込み人形やよい会

お手頃な価格のミニおひなさまをつくってみませんか。かわい動物もあります。
1月16日(木)・30日(木) 10時～12時
場 保谷駅前公民館/持ち物:エプロン・おしぼり・木目込みヘラ・ヤスリ・木工ボンド/材料費2千円

親子であそぼう

NPO法人まちかど保健室

子どもは体を動かしてあそぶことが大好きです。リズムにのってジャンプして、子どもも親も楽しんじゃおう！
1月25日(土) 9時～11時
場 ひばりが丘児童センター/講師:名取いずみ(みどりの保育園保育士)/対象:1～3歳の幼児と保護者/持ち物:タオル・飲み物/要予約

色鉛筆画作品展

パレット色えんぴつ

色鉛筆を使って、それぞれの画風でさまざまな題材を描きました。色鉛筆の可能性をお楽しみください。
1月16日(木) 13時半～16時

おたのしみ川柳

今月のお題「初」

初打ちで飛んだボールは二日酔い 長夫
初湯浴び頑張り介護母愛し ひばり
初孫と過ごす正月奪い合い 森島美音子

編集室では、みなさんの投稿をお待ちしています。
氏名・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。
3月号のお題「節」です
締切 1月24日(金)

東京さざんか倶楽部

野球の好きな方、経験のある方、初心者の方、大歓迎。
毎週月・水曜日 9時～12時
場 ひばりが丘総合運動場(ひばりアム)/入会金3千円・月額2千円/60歳以上対象

西東京マジッククラブ

手品奇術を楽しみませんか。あなたもマジシャンになれます。
月2回日曜日 13時～16時/田無公民館/入会金2千円・月額千円

花みずき

頭を使って健康麻雀しませんか。初心者も大歓迎！応募待ちます。
毎週日・水曜日 13時～18時
場 ひばりが丘公民館

トリムカンナ

健康体操。健康な毎日のために体を動かしましょう。
月4回水曜日 15時～16時45分
場 けやき小学校体育館/入会金千円・月額2千円

秀邦会

60歳以上の方限定の民謡会です。初心者大歓迎。一度見学を。
月4回火曜日 13時半～15時半
場 ひばりが丘福祉会館/月額千円/60歳以上対象

谷戸気功太極拳

健康作りには太極拳と一緒に楽しみませんか。初心者歓迎。
毎週土曜日 10時～12時/谷戸公民館/入会金千円・月額千円

陶心会

世界に一つの物、作ってみませんか。自由な発想で創作活動中。
第2土曜日、第2・3火曜日 13時～18時/芝久保公民館/入会金千円・月額2千円

ジョイフルの会

東京オリンピックが近づきます。とっさの一言を英語で話そう。
月2回月曜日、水曜日、木曜日 10時～12時/田無公民館/入会金千円・月額2千円

東京レインボース

還暦軟式野球チーム。楽しくプレーしたい方、一緒にやりませんか。
毎週火曜日 9時～12時/試合・土曜日不定期/ひばりが丘公民館

丘総合運動場(ひばりアム)

ポピュラー曲を中心にギターの合奏。入会2カ月無料。見学可。
第2・4木曜日 10時～12時/谷戸公民館ほか/月額2千500円

田無ギタークラブ

外国人学習者増加のため日本語学習支援スタッフを募集します。
毎週月曜日 18時50分～20時/田無庁舎ほか

TIC日本語教室

外国人学習者増加のため日本語学習支援スタッフを募集します。
毎週月曜日 18時50分～20時/田無庁舎ほか

3月1日号の原稿締め切り日

は、1月20日(月)です。
※金額の記載がないものは無料です。

編集後記

50年前、この地域で壮絶かつ緊迫した事件があったと知った。インターテイメントではなく、史実である。不出来な語り部だが、私も伝えていきたい。(詩)

公運審コラム

学習支援保育と地域活動

公運審委員 小沼純子

公民館との出会いは13年前。学習支援保育付きの講座に参加し、そのあと学習支援保育付きサークルを立ち上げました。今はメンバーの子どもたちも大きくなったので保育を卒業し、公民館でサークル活動をしています。

学習支援保育を上の子は2歳から、下の子は生後6カ月から幼稚園入園まで利用しました。

今、子どもたちは中3、小6になり、自分の時間もたっぷり持て

ますが、子どもたちが小さい時は、常に子どもと一緒に、子ども優先の生活です。安心できる場所、信頼できる保育員さんに子どもを預け、たった2時間ですが自分の学びのために費やせる時間を持てたことは、今思っても大変貴重だったと思います。

講師の先生を呼ぶために連絡を取ったり、講座の企画をしたり、メンバーが講師となり教えあったり、そういう活動は子育て中という制限の中で社会とつながる一歩だったように思います。

そのような活動を元に地域で活躍している方々もたくさんいますし、学校のPTAなどで積極的に活動されている方の中には学習支

援保育付きサークル出身の方が何人もいます。

地域の底力を上げるためにも、もっともっとたくさんの方々の育児中の方々に、この制度を知ってもらい、継続してほしいと願っています。

公民館運営審議会

1月22日(水) 18時半

柳沢公民館

事業計画・報告について

柳沢公民館

042・464・8211

※希望する方は傍聴できます。



記念日にちなんでまちがさがし絵をお楽しみください。まちがさがし。解答は2面下り。